

1 吹田市のまちづくりに関するアンケート(クロス集計)

単純集計の結果は第1回審議会の資料10をご確認ください。

調査概要

目的：まちづくりに関する市民のご意見をお聞きし、総合計画見直しの基礎資料とするもの

実施期間：令和4年(2022年)9月1日～16日

対象：令和4年(2022年)7月31日現在、18歳以上85歳未満の吹田市在住者 3,000人

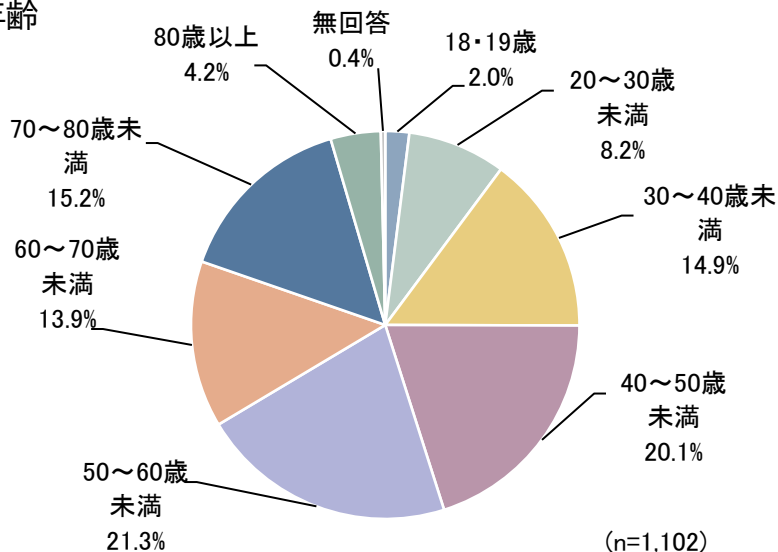
有効回答数：1,102件 有効回収率：36.9%(不到達16件を母数3,000件から除き算出)

質問項目：1 コロナや社会状況の変化による生活の変化 2 SDGsの認知度、注力すべきゴール
3 総合計画の19のめざすまちの姿の評価

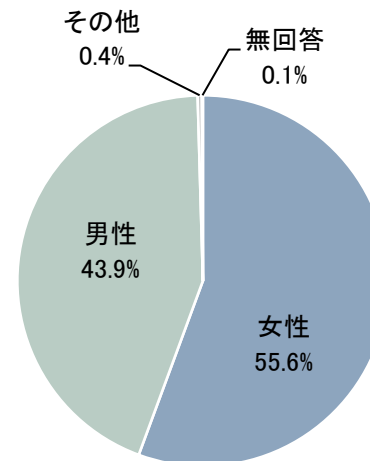
備考：依頼ハガキに記載のQRコード、URLから専用サイトに接続、回答。
希望者への紙調査票送付：56人 (内訳 50歳代3人、60歳代9人、70歳代28人、80歳代16人)

回答者の属性

年齢



性別



設問1 コロナや社会状況の変化による生活への影響

(1) 「減った」よりも「増えた」の割合が高い項目(「増えた」・「減った」の比較)

(上段:実数、下段:%)

	調査数	電話やメール、テレビなど、連絡を取り合う回数	エアコンを使用する回数	プラスチック製品を使用する回数	オンラインを利用した回数	キャッシュレス決済を利用する回数	うがい、手洗いなどの回数	災害に関する意識	将来への不安感	ストレス	仕事以外の余暇時間	自宅で過ごす時間	家事をする時間	在宅勤務の回数	
															実数
全体	1,102	322	726	196	660	698	917	613	616	702	234	793	429	241	
	100.0	29.2	65.9	17.8	59.9	63.3	83.2	55.6	55.9	63.7	21.2	72.0	38.9	21.9	
年齢別	18・19歳	22	12	16	9	20	12	17	12	13	6	13	4	4	
		100.0	54.5	72.7	40.9	90.9	54.5	77.3	54.5	59.1	59.1	27.3	59.1	18.2	18.2
	20歳代	90	38	57	15	72	69	69	41	50	59	22	61	41	23
		100.0	42.2	63.3	16.7	80.0	76.7	76.7	45.6	55.6	65.6	24.4	67.8	45.6	25.6
	30歳代	164	58	114	40	124	130	128	84	87	99	32	119	80	52
		100.0	35.4	69.5	24.4	75.6	79.3	78.0	51.2	53.0	60.4	19.5	72.6	48.8	31.7
	40歳代	221	64	154	44	155	150	185	110	126	142	47	166	102	61
		100.0	29.0	69.7	19.9	70.1	67.9	83.7	49.8	57.0	64.3	21.3	75.1	46.2	27.6
50歳代	235	59	147	37	147	162	196	137	128	154	44	167	83	64	
	100.0	25.1	62.6	15.7	62.6	68.9	83.4	58.3	54.5	65.5	18.7	71.1	35.3	27.2	
60歳代	153	35	100	22	78	99	138	94	95	100	43	121	57	26	
	100.0	22.9	65.4	14.4	51.0	64.7	90.2	61.4	62.1	65.4	28.1	79.1	37.3	17.0	
70歳代	167	44	109	22	56	64	145	104	91	107	31	114	50	9	
	100.0	26.3	65.3	13.2	33.5	38.3	86.8	62.3	54.5	64.1	18.6	68.3	29.9	5.4	
80歳以上	46	10	27	7	6	9	37	27	24	27	9	30	11	0	
	100.0	21.7	58.7	15.2	13.0	19.6	80.4	58.7	52.2	58.7	19.6	65.2	23.9	0.0	

※「全体」よりも…

- ・10ポイント以上構成比が高い項目は **白抜字**
- ・5ポイント以上構成比が高い項目は **灰色塗りつぶし**
- ・5ポイント以上構成比が低い項目は **斜体字に下線**
- ・10ポイント以上構成比が低い項目は **太字に下線**

【全体欄の見方の例】(単純集計結果より抜粋)



設問1 コロナや社会状況の変化による生活への影響

(2) 「増えた」よりも「減った」の割合が高い項目(「増えた」・「減った」の比較)

(上段:実数、下段:%)

		調査数	外出する回数	人と直接会う回数	旅行に行く回数	公園を利用する回数	公共交通機関を利用する回数	生活の充実感	仕事による収入	仕事をする時間
全体		1,102	805.0	891	820	327	582	453	300	216
		100.0	73.0	80.9	74.4	29.7	52.8	41.1	27.2	19.6
年齢別	18・19歳	22	12	15	15	11	6	5	4	3
		100.0	54.5	68.2	<i>68.2</i>	50.0	27.3	22.7	<i>18.2</i>	<i>13.6</i>
	20歳代	90	56	65	54	17	31	38	21	11
		100.0	62.2	<i>72.2</i>	60.0	18.9	34.4	42.2	23.3	<i>12.2</i>
	30歳代	164	109	134	112	35	82	65	40	29
		100.0	<i>66.5</i>	81.7	<i>68.3</i>	<i>21.3</i>	50.0	39.6	24.4	17.7
	40歳代	221	162	182	167	78	116	96	64	42
		100.0	73.3	82.4	75.6	35.3	52.5	43.4	29.0	19.0
	50歳代	235	175	193	180	75	116	101	73	54
	100.0	74.5	82.1	76.6	31.9	49.4	43.0	31.1	23.0	
60歳代	153	128	129	120	48	98	61	53	40	
	100.0	83.7	84.3	78.4	31.4	64.1	39.9	34.6	26.1	
70歳代	167	130	136	133	49	104	66	40	31	
	100.0	77.8	81.4	79.6	29.3	62.3	39.5	24.0	18.6	
80歳以上	46	31	34	35	13	27	19	4	5	
	100.0	<i>67.4</i>	<i>73.9</i>	76.1	28.3	58.7	41.3	8.7	<i>10.9</i>	

※「全体」よりも…

- ・10ポイント以上構成比が高い項目は **白抜字**
- ・5ポイント以上構成比が高い項目は **灰色塗りつぶし**
- ・5ポイント以上構成比が低い項目は **斜体字に下線**
- ・10ポイント以上構成比が低い項目は **太字に下線**

設問2 SDGsについて

(1) SDGsについての認知状況

(上段:実数、下段:%)

		調査数	すべてのSDGsを知っている人の割合	SDGsの目標を知っている人の割合	SDGsの目標の内容を知っている人の割合	SDGsの目標の内容を知っている人の割合	SDGsの目標の内容を知っている人の割合
全体		1,102	64	579	137	225	88
		100.0	5.8	52.5	12.4	20.4	8.0
年齢別	18・19歳	22	6	13	1	2	0
		100.0	27.3	59.1	<i>4.5</i>	9.1	<i>0.0</i>
	20歳代	90	7	40	24	15	4
		100.0	7.8	44.4	26.7	16.7	4.4
	30歳代	164	12	97	25	25	5
		100.0	7.3	59.1	15.2	15.2	3.0
	40歳代	221	17	115	35	39	15
		100.0	7.7	52.0	15.8	17.6	6.8
50歳代	235	8	145	25	42	13	
	100.0	3.4	61.7	10.6	17.9	5.5	
60歳代	153	10	86	13	29	12	
	100.0	6.5	56.2	8.5	19.0	7.8	
70歳代	167	3	72	9	55	25	
	100.0	1.8	43.1	<i>5.4</i>	32.9	15.0	
80歳以上	46	0	9	4	18	14	
	100.0	<i>0.0</i>	19.6	8.7	39.1	30.4	

※「全体」よりも…

- ・10ポイント以上構成比が高い項目は **白抜字**
- ・5ポイント以上構成比が高い項目は **灰色塗りつぶし**
- ・5ポイント以上構成比が低い項目は **斜体字に下線**
- ・10ポイント以上構成比が低い項目は **太字に下線**

(2) 吹田市が特に注力すべきSDGsのゴール

(上段:実数、下段:%)

		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすすめる	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
全体		1,102 100.0	248 22.5	59 5.4	574 52.1	382 34.7	73 6.6	62 5.6	132 12.0	277 25.1	93 8.4	100 9.1	597 54.2	61 5.5	163 14.8	41 3.7	52 4.7	126 11.4	19 1.7
年齢別	18・19歳	22 100.0	6 27.3	1 4.5	11 50.0	9 40.9	3 13.6	2 9.1	3 13.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5	8 36.4	1 4.5	2 9.7	4 18.2	2 9.1	1 4.5	2 9.1
	20歳代	90 100.0	17 18.9	3 3.3	42 46.7	33 36.7	9 10.0	7 7.8	14 15.6	26 28.9	8 8.9	10 11.1	43 47.8	3 3.3	11 12.2	1 1.1	6 6.7	8 8.9	3 3.3
	30歳代	164 100.0	33 20.1	7 4.3	74 45.1	82 50.0	14 8.5	6 3.7	13 7.9	55 33.5	21 12.8	9 5.5	91 55.5	11 6.7	13 7.9	1 0.6	8 4.9	21 12.8	5 3.0
	40歳代	221 100.0	46 20.8	6 2.7	100 45.2	94 42.5	7 3.2	11 5.0	29 13.1	67 30.3	17 7.7	23 10.4	126 57.0	9 4.1	29 13.1	13 5.9	11 5.0	24 10.9	6 2.7
	50歳代	235 100.0	48 20.4	14 6.0	127 54.0	72 30.6	14 6.0	13 5.5	30 12.8	66 28.1	24 10.2	20 8.5	120 51.1	12 5.1	39 16.6	8 3.4	10 4.3	28 11.9	1 0.4
	60歳代	153 100.0	39 25.5	9 5.9	83 54.2	41 26.8	12 7.8	10 6.5	15 9.8	30 19.6	7 4.6	10 6.5	98 64.1	13 8.5	24 15.7	6 3.9	9 5.9	18 11.8	0 0.0
	70歳代	167 100.0	42 25.1	12 7.2	104 62.3	43 25.7	12 7.2	6 3.6	23 13.8	26 15.6	13 7.8	24 14.4	81 48.5	11 6.6	40 24.0	8 4.8	5 3.0	19 11.4	1 0.6
	80歳以上	46 100.0	16 34.8	7 15.2	31 67.4	7 15.2	1 2.2	7 15.2	4 8.7	3 6.5	1 2.2	3 6.5	28 60.9	1 2.2	5 10.9	0 0.0	1 2.2	6 13.0	1 2.2

※「全体」よりも…

- ・10ポイント以上構成比が高い項目は **白抜字**
- ・5ポイント以上構成比が高い項目は **灰色塗りつぶし**
- ・5ポイント以上構成比が低い項目は **斜体字に下線**
- ・10ポイント以上構成比が低い項目は **太字に下線**

設問3 めざすまちの姿に対する評価

(1) 年代別クロス集計

総合計画の19のめざすまちの姿の評価

「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計 年代別分析

1 めざすまちの姿についての評価について、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計を年代別に集計

年齢区分と人数・割合については、以下のとおり

年代	人数(人)	割合(%)
10歳代・20歳代	112	10.2
30歳代	164	14.9
40歳代	221	20.1
50歳代	235	21.3
60歳代	153	13.9
70歳代以上	213	19.4

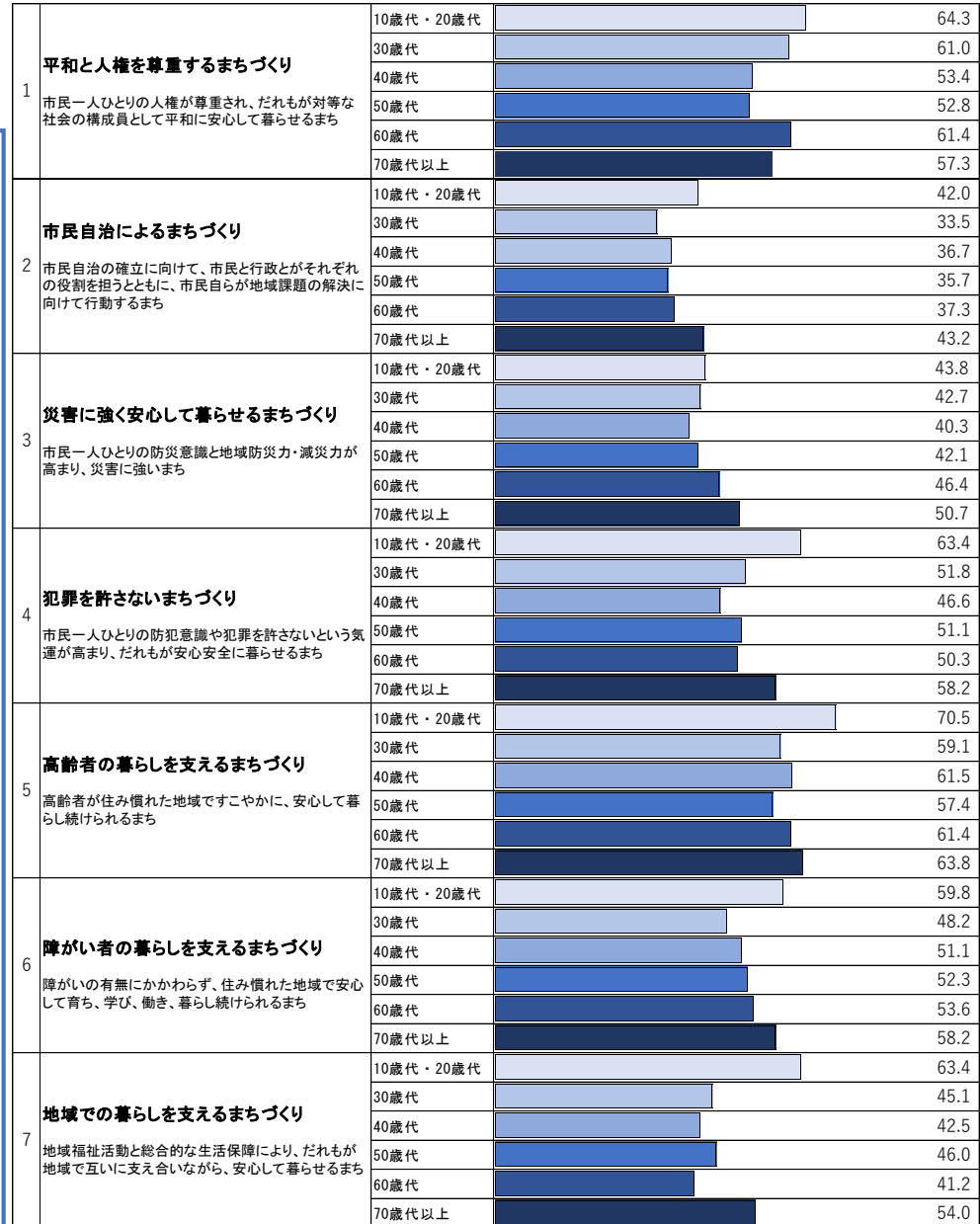
2 集計結果として、以下の傾向が見られた

(1) いずれの年代でも上位3位内に入る項目

・安全・快適な都市を支える基盤づくり ・市民が愛着を持てるまちづくり

(2) (1)以外の項目での年代ごとの評価傾向

年齢	評価高	評価低
10・20歳代	高齢者の暮らしを支えるまちづくり	市民自治によるまちづくり 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
30歳代	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	市民自治によるまちづくり 行政資源の効果的活用
40歳代	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 子育てしやすいまちづくり	市民自治によるまちづくり 行政資源の効果的活用
50歳代	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	市民自治によるまちづくり 行政資源の効果的活用
60歳代	平和と人権を尊重するまちづくり 高齢者の暮らしを支えるまちづくり	市民自治によるまちづくり 地域経済の活性化を図るまちづくり
70歳代以上	高齢者の暮らしを支えるまちづくり	市民自治によるまちづくり 地域経済の活性化を図るまちづくり



8	健康・医療のまちづくり 市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、すこやかで安心して暮らせるまち	10歳代・20歳代	65.2
		30歳代	51.2
		40歳代	49.8
		50歳代	58.3
		60歳代	51.0
		70歳代以上	58.2
		9	子育てしやすいまちづくり 安心して子供を産み育てられ、すべての子供がすこやかに育つことができるまち
30歳代	64.6		
40歳代	66.1		
50歳代	62.6		
60歳代	58.2		
70歳代以上	60.6		
10	学校教育の充実したまちづくり 子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち		
		30歳代	45.7
		40歳代	51.6
		50歳代	53.6
		60歳代	52.9
		70歳代以上	53.1
		11	青少年がすこやかに育つまちづくり 家庭、地域、学校の連携・協働のもと、青少年のすこやかな成長を支えるまち
30歳代	48.8		
40歳代	49.3		
50歳代	50.2		
60歳代	51.6		
70歳代以上	49.3		
12	生涯にわたり学べるまちづくり いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち		
		30歳代	41.5
		40歳代	41.6
		50歳代	44.7
		60歳代	46.4
		70歳代以上	47.9
		13	環境先進都市のまちづくり 持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち
30歳代	43.9		
40歳代	38.5		
50歳代	41.3		
60歳代	47.1		
70歳代以上	46.0		
14	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち		
		30歳代	68.9
		40歳代	66.5
		50歳代	69.4
		60歳代	60.1
		70歳代以上	62.9

15	安全・快適な都市を支える基盤づくり 道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち	10歳代・20歳代	77.7
		30歳代	67.7
		40歳代	70.6
		50歳代	71.9
		60歳代	68.6
		70歳代以上	69.0
		16	地域経済の活性化を図るまちづくり 地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち
30歳代	38.4		
40歳代	38.5		
50歳代	42.6		
60歳代	36.6		
70歳代以上	43.2		
17	文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち		
		30歳代	54.9
		40歳代	53.8
		50歳代	60.9
		60歳代	54.9
		70歳代以上	60.1
		18	市民が愛着をもてるまちづくり まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りを持ち、住み続けたいと思えるまち
30歳代	65.2		
40歳代	64.3		
50歳代	68.5		
60歳代	73.9		
70歳代以上	66.2		
19	行政資源の効果的活用 限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち		
		30歳代	31.7
		40歳代	36.2
		50歳代	39.6
		60歳代	38.6
		70歳代以上	45.5

設問3 めざすまちの姿に対する評価

(2) 居住地別クロス集計

総合計画の19のめざすまちの姿の評価

「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計 居住地別分析

- 1 めざすまちの姿についての評価について、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計を居住地別に集計

居住地区分と人数・割合については、以下のとおり

地域	人数(人)	割合(%)
JR以南	105	9.5
片山・岸部	130	11.8
豊津・江坂・南吹田	177	16.1
千里山・佐井寺	160	14.5
山田・千里丘	209	19.0
千里NT・万博・阪大	221	20.1

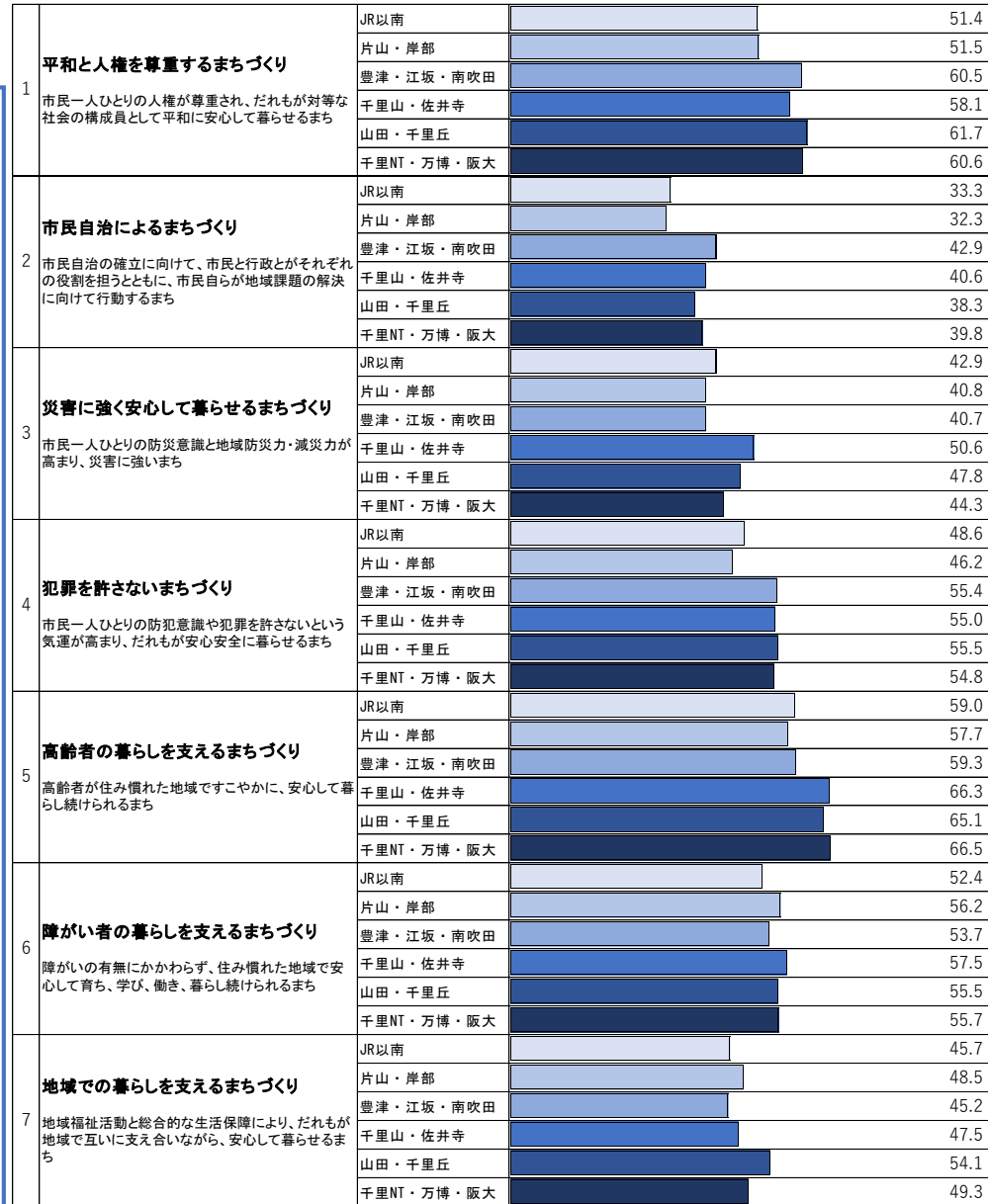
- 2 集計結果として、以下の傾向が見られた

(1)年代別集計と同様、

・安全・快適な都市を支える基盤づくり ・市民が愛着を持てるまちづくり
がどの地域においても上位3位以内となった。

(2)(1)以外の項目での居住地ごとの評価傾向

地域	評価高	評価低
JR 以南	子育てしやすいまちづくり	市民自治によるまちづくり 地域経済の活性化を図るまちづくり
片山・岸部	子育てしやすいまちづくり	市民自治によるまちづくり 行政資源の効果的活用
豊津・江坂・南吹田	平和と人権を尊重するまちづくり	災害に強く安心して暮らせるまちづくり 行政資源の効果的活用
千里山・佐井寺	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	市民自治によるまちづくり 行政資源の効果的活用
山田・千里丘	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	市民自治によるまちづくり 地域経済の活性化を図るまちづくり
千里 NT・万博・阪大	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	地域経済の活性化を図るまちづくり 行政資源の効果的活用



8	健康・医療のまちづくり 市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、すこやかで安心して暮らせるまち	JR以南	54.3
		片山・岸部	58.5
		豊津・江坂・南吹田	52.0
		千里山・佐井寺	57.5
		山田・千里丘	59.3
		千里NT・万博・阪大	56.1
9	子育てしやすいまちづくり 安心して子供を産み育てられ、すべての子供がすこやかに育つことができるまち	JR以南	60.0
		片山・岸部	63.8
		豊津・江坂・南吹田	58.2
		千里山・佐井寺	63.8
		山田・千里丘	64.6
		千里NT・万博・阪大	70.1
10	学校教育の充実したまちづくり 子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち	JR以南	48.6
		片山・岸部	50.0
		豊津・江坂・南吹田	50.8
		千里山・佐井寺	55.0
		山田・千里丘	59.8
		千里NT・万博・阪大	52.0
11	青少年がすこやかに育つまちづくり 家庭、地域、学校の連携・協働のもと、青少年のすこやかな成長を支えるまち	JR以南	44.8
		片山・岸部	49.2
		豊津・江坂・南吹田	49.2
		千里山・佐井寺	56.3
		山田・千里丘	56.5
		千里NT・万博・阪大	51.1
12	生涯にわたり学べるまちづくり いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち	JR以南	44.8
		片山・岸部	44.6
		豊津・江坂・南吹田	43.5
		千里山・佐井寺	48.8
		山田・千里丘	45.5
		千里NT・万博・阪大	48.9
13	環境先進都市のまちづくり 持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち	JR以南	41.0
		片山・岸部	43.1
		豊津・江坂・南吹田	45.2
		千里山・佐井寺	46.3
		山田・千里丘	48.3
		千里NT・万博・阪大	44.8
14	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち	JR以南	58.1
		片山・岸部	60.8
		豊津・江坂・南吹田	57.6
		千里山・佐井寺	67.5
		山田・千里丘	69.9
		千里NT・万博・阪大	79.6

15	安全・快適な都市を支える基盤づくり 道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち	JR以南	62.9
		片山・岸部	70.0
		豊津・江坂・南吹田	69.5
		千里山・佐井寺	75.0
		山田・千里丘	66.0
		千里NT・万博・阪大	81.0
16	地域経済の活性化を図るまちづくり 地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち	JR以南	35.2
		片山・岸部	40.0
		豊津・江坂・南吹田	45.2
		千里山・佐井寺	46.3
		山田・千里丘	44.0
		千里NT・万博・阪大	38.5
17	文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち	JR以南	56.2
		片山・岸部	60.8
		豊津・江坂・南吹田	52.5
		千里山・佐井寺	63.1
		山田・千里丘	62.2
		千里NT・万博・阪大	60.6
18	市民が愛着をもてるまちづくり まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りを持ち、住み続けたいと思えるまち	JR以南	65.7
		片山・岸部	63.8
		豊津・江坂・南吹田	65.0
		千里山・佐井寺	71.3
		山田・千里丘	74.2
		千里NT・万博・阪大	73.8
19	行政資源の効果的活用 限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち	JR以南	39.0
		片山・岸部	35.4
		豊津・江坂・南吹田	40.1
		千里山・佐井寺	40.6
		山田・千里丘	45.5
		千里NT・万博・阪大	38.5